

4013615-00 C01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。









取扱説明書の種類と使い方.....1 本文中のマークについて.....2

.

.

設置する前に

もくじ

開梱からコピーまでの手順	4
設置に必要なスペース	6
専用スキャナスタンド / プリンタ台を	
使用する場合	6
専用スキャナスタンド / プリンタ台を	
使用しない場合	7
設置上のご注意	10

スキャナの設置

スキャナの移動と設置	12
輸送用固定ノブの固定と解除	12
CS-6500S同梱品の取り付け	13
スキャナに取り付ける部品	13
取り付け手順	14
電源の接続と動作の確認	16
ADFを使用する方へ	18
スキャナビボタンについて	19

プリンタの設置

プリンタの設置とセットアップ	22
プリンタの設置と保護材の取り外し	22
フェイスアップトレイの取り付け	23
ET カートリッジの取り付け	24
感光体ユニットの取り付け	28
CS-6500S同梱品の取り付け	31
プリンタに取り付ける部品	31
増設メモリについて	32
取り付け手順	
電源の接続	40

CS-6500Sの設置

専用スキャナスタンドへの取り付け	44
専用スキャナスタンドを使用しない場合	47
スキャナと操作パネルの接続	48
スキャナの接続	49
操作パネルの接続	50
ケーブル固定について(操作パネル)	51

ネットワークスキャニングボックスをお使いの場合

ネットワークスキャニングボックスの	
取り付け54	
ケーブル固定	
(ネットワークスキャニングボックス)58	

. . .

本文中のマークについて

マークが付いている文章は次のように重要な内容を記載しています。必ずお 読みください。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、装置本体が損傷する可能性が想 定される内容を示しています。

. . .



お取り扱い上、必ずお守りいただきたいこと(操作)を記載しています。

ポイント

<u>用語(*1)</u> 分かりにくい用語の説明を、欄外に記載している事を示しています。

設置する前に

ここでは、コピーシステムを設置するために必要なスペース や、設置上のご注意などについて説明しています。	•
開梱からコピーまでの手順 P.4 設置に必要なスペース P.6 設置上のご注意 P.10	

開梱からコピーまでの手順

内容物の確認後、コピーを行うまでのおおまかな手順を紹介します。







• • •

設置に必要なスペース

ここでは、オプションの専用スキャナスタンド、専用プリンタ台を使用する場合と使用しない場合に分けて、各機器を設置するために必要なスペースを示します。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用する場合

専用スキャナスタンド(型番:CSCBN7A)を使用すると、スペース効率の良い 設置ができます。

専用スキャナスタンド(型番: CSCBN7A)/専用プリンタ台(型番: CSCBN7B)





専用プリンタ台にプリンタを載せる場合、プリンタ正面を、プリンタ台前端に 合わせて載せてください。また、専用プリンタ台と専用スキャナスタンドは、 必ず付属のロックピンで固定してください。ロックピンは、2つある穴のうち、 背面側の穴に差し込んでください。



- プリンタにオプションの増設カセットユニット(2段)を装着している場合、プリンタをスタンドの中に入れるには、最も高い状態にしてください。
- 専用スキャナスタンドの高さは、スタンドの上部と下部を固定するボルトを差し込む穴を変えることで行います。詳しくは、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説明書を参照してください。

専用スキャナスタンド / プリンタ台を使用しない場合

専用スキャナスタンド/専用プリンタ台を使用しない場合、プリンタ、スキャナ を並べて設置することになります。各機器の設置に必要なスペースは次の通り です。

CS-6500S(操作パネル)

CS-6500S(操作パネル)は、本製品に同梱のゴム脚を貼り付けて、机の上な ど、平らな台の上に置いて使用します。

操作パネルの寸法は次の通りです。ボタンの操作に支障のないスペースを確保 してください。





スキャナ用オプションのネットワークスキャニングボックス(ESNSB1)を接続している場合、操作パネル左側にネットワークスキャニングボックスを収納することができます。ケーブル類に負荷がかかる場合は、操作パネル左側のカバーを必要に応じて取り外してください。



プリンタ(LP-8500C、LP-8300C)

プリンタの設置についての詳細は、プリンタに添付の「開梱と据置作業を行われ る方へ」をご覧ください。



プリンタの周囲には、作業がしやすいように十分なスペースを確保してください。





本機の上に、スキャナやCS-6500Sの操作パネルを重ねないでください。故障の 原因になります。

設置に必要なスペース

. .

スキャナ(ES-9000H)

スキャナの設置についての詳細は、スキャナに添付の「ユーザーズガイド」を ご覧ください。



スキャナの周囲と上側には、操作しやすいように十分なスペースを確保してく ださい。



^{*1} オプションの ADF (オートドキュメントフィーダ)を装着した場合は 600mm ^{*2} オプションの ADF を装着した場合は 488mm ^{*3} オプションの ADF を装着した場合は 254mm



次のような場所に設置してください。

設置上のご注意





各機器は精密な機械・電子部品で作られています。次のような場所に設置する と動作不良や故障の原因となりますので、絶対に避けてください。





テレビ・ラジオに近い場所には設置しないでください。各機器は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)基準に適合しておりますが、微弱な電波は発信しております。近くのテレビ・ラジオに雑音を与えることがあります。



• •

 静電気の発生しやすい場所でお使いになるときは、静電防止 マットなどを使用して、静電気の発生を防いでください。



ここでは、スキャナの設置について説明しています。	
スキャナの移動と設置	P.12
CS-6500S 同梱品の取り付け	P.13
電源の接続と動作の確認	P.16
ADF を使用する方へ	P.18
スキャナビボタンについて	P.19

スキャナの移動と設置

設置スペースを確保したら、スキャナを設置します。スキャナを移動すると きは、輸送用固定ノブがロックされていることを確認します。



輸送用固定ノブは、スキャナ内部にあるキャリッジが外部からの衝撃により移 動しないよう、固定・保護するためのものです。

輸送用固定ノブの固定と解除

スキャナの移動時に輸送用固定ノブがLOCKの位置にない場合は、10円硬貨な どを使って、ノブをLOCKの位置に回してください。 詳しくは、スキャナの取扱説明書の次の箇所を参照してください。

• ユーザーズガイド「移動時のご注意」



スキャナの使用時は、10円硬貨などを使って、ノブをUNLOCKの位置に回してください。



CS-6500S 同梱品の取り付け

スキャナ背面のオプションスロットのカバーを外し、本製品に同梱のスキャナ用I/Fカードを取り付けます。

スキャナに取り付ける部品

スキャナに取り付ける部品は次の通りです。

• スキャナ用 I/F カード:1 枚



取り付け手順

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。



必ずスキャナの電源をオフにして作業を行ってください。電源がオンの状態で I/Fカードを取り付けるとスキャナおよびI/Fカードの故障の原因になります。



スキャナの電源をオフにします。



スキャナ背面の、オプションスロットのカバーのネジ(2本)を外し、 カバーを取り外します。





本製品に同梱のスキャナ用 I/F カードを、オプション用スロットに差し 込みます。

I/Fカードの部品が実装されている面を上にして、スロット左右のガイドに沿ってまっすぐ差し込み、先端のコネクタがスロット奥のソケットに差し込まれる 手応えがあるまで差し込んでください。





電源の接続と動作の確認

CS-6500Sと接続する前に、電源を接続して正常に動作するか確認します。

ユーザーズガイドの巻頭に記載されている「安全にお使いいただくために」を 参照の上、正しくお取り扱いください。

Operateスイッチがオフであることを確認します。

Operateスイッチが奥に押されている状態だと、オンになっています。スイッチ を押してオフにしてください。



コンセントの電圧が AC100V であることを確認し、電源コードを接続します。

電源コードのコネクタ側をスキャナのACインレットに差し込みます。 プラグをコンセントに差し込みます。



3

Operateスイッチを押して電源をオンにします。

次の2点を確認してください。確認できれば正常です。

- 電源をオンにしたあと、キャリッジが少し動いて、蛍光ランプ(白色)が試験点灯するか。
- そのあとで Ready ランプが点灯するか。





- 電源をオンにしたときに Error ランプと Ready ランプが点滅したら -これは、輸送用固定ノブがLOCK状態のため、キャリッジが動作できないこと を示しています。電源をオフにしてから P.12を参照してノブを UNLOCKの 位置に回し、改めて上記の操作を行ってください。

後で CS-6500Sと接続しますので、スキャナの電源をオフにします。 以上で動作確認は終了です。



ADF を使用する方へ

スキャナ用オプションのADF(オートドキュメントフィーダ)について、ES-9000Hで使用できるものは、次の型番のものです。

• ADF(型番:ESA3ADF2)

スキャナへのESA3ADF2の取り付け方法は、オプションに同梱の取扱説明書 を参照してください。



ADFは、原稿を連続してコピーすることができる装置です。 主な仕様は次の通りです。

セット可能サイズ	定形紙	A6 ^{*1} 、官製八ガキ ^{*1} 、A5、B5、LETTER、A4、LEGAL、 B4、LEDGER、A3
	不定形紙	幅 148~297mm 長さ 100~432mm
セット可能枚数	100枚(80	0g/m ²) ^{•2}
紙質	上質紙、中 パーファイ	⁻ 質紙、インクジェットプリンタ専用紙(ファイン紙スー ´ン紙相当 <u>)</u> ボンド紙
紙厚	50 ~ 127g	/m²

*1 A6、官製ハガキは横長にセットしてください。

*2 エッジガイドの目盛りを超えてセットしないでください。



ADFには、異なるサイズの用紙を一緒にセットしないでください。

ADF を使用する方へ

スキャナビボタンについて

ES-9000Hには、スキャナ本体上面にスキャナビボタンがあります。 スキャナをCS-6500Sと組み合わせ、コピーシステムとしてのみ使用する場 合、スキャナビボタンを誤って操作しないよう、CS-6500Sに同梱のシール をスキャナビボタンの上に貼ってください。

同梱のシールを貼ることで誤操作を 防ぐことができます。



• •



— MEMO —



ここでは、プリンタの設置とセットアップについて説明して います。

プリンタの設置とセットアップ	P.22
CS-6500S 同梱品の取り付け	P.31
電源の接続	P.40

プリンタの設置とセットアップ

プリンタの据置場所を確保したら CS-6500S をプリンタに取り付ける前に、 プリンタ同梱の取扱説明書を参照してプリンタの設置とセットアップを行い ます。

プリンタの設置と保護材の取り外し

プリンタを設置します。

プリンタ本体添付の「開梱と据置作業を行われる方へ」を参照してください。



保護材を取り外します。

プリンタを輸送時の衝撃から守るために保護材が複数箇所に取り付けられてい ます。プリンタ本体添付の「セットアップガイド」を参照してください。



フェイスアップトレイの取り付け

フェイスアップトレイをプリンタ左側の排紙口に取り付けます。



フェイスアップトレイを取り付ける前に、すべての保護材が取り外されていることを確認してください。

∠アプリンタに同梱のセットアップガイド「保護材の取り外し」



フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の下部に押し付 けるようにして、右側の突起をプリンタの排紙口の右側の穴に差し込 みます。



(12) #1>F

フェイスアップトレイ右側のバネをプリンタの排紙口の中に入れたまま取り付 けないよう注意してください。



フェイスアップトレイの左側の突起をプリンタの排紙口の左側の穴に 差し込みます。



ET カートリッジの取り付け

取り付け時のご注意

ETカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のETカートリッジを装着してください。

寒い場所から暖かい場所に移動した場合は、ETカートリッジを室温に慣らすために1時間以上待ってから作業を行ってください。

トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流し てください。

保管上のご注意

ETカートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管して ください。

以下の環境で保管してください。

温度範囲:0~35

湿度範囲:15~80%

高温多湿になる場所には置かないでください。

CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を 帯びたものの近くに置かないでください。

幼児の手の届かない場所に保管してください。

前カバーを開けます。



2

ETカートリッジの装着口には、セットする ETカートリッジの色が示してあります。右下図の位置に表示されている色を確認して、同じ色の ETカートリッジを用意します。

ET カートリッジの装着口は次のように回転します。



3

ETカートリッジを梱包から取り出し、図のように左右に傾けて7~8回振り、中のトナーを均一にします。





ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、次の手順で装着します。

ETカートリッジ先端の矢印を上に向け、装着口にまっすぐ差し込みます。 ETカートリッジが装着口の奥に当たり、これ以上押し込めなくなったらに進みます。



差し込んだ ET カートリッジ後端のツマミを持ち、ツマミの がセットの位置にくるまで矢印の方向に約90度回します。ツマミを回すと同時にET カートリッジが装着口に押し込まれます。ツマミが水平になり、これ以上回らなくなったら ET カートリッジの装着は完了です。





ETカートリッジのツマミはセットの位置に止まるまでしっかりと回してください。装着が不完全の場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

6

次のETカートリッジを装着します。

スイッチを上に押し上げます。



スイッチを押し上げたら、スイッチから指を離してください。



ノブを図の矢印の方向に回します。 「カチッ」と音がしてスイッチが下がり、ノブがそれ以上回らなくなると、次の ET カートリッジ装着口が正面にきます。





スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回 らないときは無理に回さずに、スイッチを押し上げてから回してください。



2から5の手順に従って4個のETカートリッジを全て取り付けます。 4個めのETカートリッジを装着したら5の作業は不要です。

感光体ユニットの取り付け

取り付け時の注意



- プリンタ内部の定着器やその周辺部分には絶対に触れないでください。
- 使用済みの感光体ユニットおよび廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れな
- いでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。
- 感光体(青い円筒部分)の表面は手で触らないでください。また、感光体の 表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。
 感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなく なります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。
 室内の明かりの下でも、感光体ユニットを5分以上放置しないでください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
 温度範囲:0~35
 湿度範囲:15~80%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- CRTディスプレイの画面、ドライブ装置、フロッピーディスクなど、磁気を 帯びたものの近くには置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。



感光体ユニットを梱包から取り出し、保護シートをはがします。

感光体ユニットは、机の上などに置かず、必ず持ったままの状態で作業を行ってください。



感光体(青い円筒形の部分)の表面は手で触らないでください。また感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
 感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。

感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも5分以上放置しないでください。





感光体ユニットの上部のオレンジ色の取っ手を持ち、左右のガイド部 をプリンタ内のレールに合わせて、まっすぐ押し込みます。

感光体はプリンタの奥までしっかり押し込んでください。





感光体ユニットのガイドは、プリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタ の奥までしっかり押し込んでください。その際に、感光体(青い円筒部分)を 他の部品に接触させないよう十分注意してください。



. . .

.

. . .

CS-6500S 同梱品の取り付け

プリンタの右上カバーを外し、本製品に同梱の部品を取り付けます。

プリンタに取り付ける部品

プリンタに取り付ける部品は次の通りです。

• CS-6500S ROM モジュール:1枚



 プリンタ用 I/F カード:1枚 (CS-6500Sに同梱のネジ(1本)と、プリンタ背面のネジ(2本)で固定し ます。)



 増設メモリ(128MB):1枚 (CS-6500Sに同梱の増設メモリは、容量128MBのものが1枚です。プリンタのメモリは、最大768MBまで増設できるため、必要に応じて市販の増設メモリを用意してください。)





- 本製品に同梱の増設メモリの他に、増設メモリを用意している場合も、次ページの説明を参照して増設メモリの取り付けを行ってください。
- プリンタ用オプションのハードディスクユニットなど、他のオプションを用意している場合、プリンタの取扱説明書や各オプションの取扱説明書を参照して、取り付けてください。

増設メモリについて

プリンタをカラーコピーシステムとしてお使いになる場合、プリンタ搭載メ モリ容量は160MB(標準搭載メモリ32MB+増設メモリ128MB)以上が必 須条件となります(推奨288MB)。

標準搭載メモリ(32MB)だけでは使用できません。本製品に同梱の増設メモリ(128MB)や、市販の増設メモリを、本書の手順に従って取り付けてください。



取り付け手順

取り付け作業にはプラスドライバが必要です。ご用意ください。 また、先端が磁石になっているドライバを使用してください。



カバーの内側や内部のバネなどで、手を傷付けないように注意しながら作業を行ってください。



 作業の前に、設置されている金属に手を触れるなどして体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態で、I/Fカードやメモリ/ ROMモジュールにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

- •必ずプリンタの電源をオフにして作業を行ってください。
- プリンタ内部の基板に触れないよう注意してください。また、プリンタ内部に部 品やネジを落とさないよう注意してください。

プリンタの電源をオフにします。



プリンタ本体背面の、上から2番目のコネクタカバーのネジ(2本) を外し、コネクタカバーを取り外します。





取り外したコネクタカバーは保管しておいてください。取り外したネジ(2本)は、 プリンタ用I/Fカードの取り付けに使います。なくさないように注意してください。



プリンタ用 I/F カードのコネクタ、ROM モジュール用ソケット、増設 メモリ用ソケットの位置を確認します。



標準メモリ用ソケット0に装着されているメモリも大容量のものに交換することができます。ただし、ソケット0には必ずメモリを装着しておいてください。プリンタが動作しなくなります。

プリンタにはじめから装着されている標準ROMモジュールは、絶対に取り外さないでください。取り外すとプリンタが動作しなくなります。





3つのROMモジュール用ソケットの内、使用可能なソケットはA、Bの2つ です。ROMモジュール用ソケットCは、ROMモジュールを装着しても使用 できません。 7



ポイン

注意

プリンタ用 I/F カード背面のコネクタと、プリンタ背面の穴の位置を合わせ、プリンタ用 I/F カードのコネクタをプリンタのソケットに差し込みます。

プリンタ用I/Fカードを扱う際は、基板上の部品に触れないよう、I/Fカードの 端を持ってください。



本製品に同梱のネジ(1本)で、プリンタ用I/Fカードを固定します。



プリンタ内部にネジを落とさないように注意してください。先端が磁石になっているドライバを使用してください。



CS-6500S 同梱品の取り付け

手順2で外したネジ(2本)で、プリンタ用 I/F カード背面を固定します。





本製品に同梱の ROM モジュールを装着します。



装着する際に、必要以上に力を掛けないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。

• 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。



- 本製品に同梱のROMモジュールは、ソケットA/Bどちらに装着してもかまいません。
- プリンタ用オプションのROMモジュールと一緒に装着する場合、装着するソケットが限定される場合があります。プリンタ用オプションのROMモジュールの取扱説明書を参照してください。

ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のある側に向け、 図のようにまっすぐソケットに差し込みます。



ROM モジュールが正しく装着されると、ソケット端の×印の部分が飛び出した状態になり、ROM モジュールが固定されます。



ポイント

本製品に同梱の増設メモリを装着します。

本製品に同梱の増設メモリは、ソケット1/2どちらに装着してもかまいません。

増設メモリをまっすぐにソケット に差し込みます。 切り欠きのある側を下に向けて差 し込みます。

増設メモリが正しく差し込まれる と、ソケット左右のツメが増設メ モリの左右の切り欠きにかみ合 い、固定されます。







次の手順で右上カバーを取り付けます。

右上カバーの下側をプリンタに添えて位置を決めます。 右上カバーの上側をプリンタの上部にはめ込みます。 右上カバーを前方にスライドさせます。



B

右上カバーをネジ(3本)で固定してから、前カバーと紙送りユニット を閉じます。



• • •

電源の接続

⚠警告
電源コードは本製品に添付されている専用のコードを接続してください。 発熱などによる火災や感電、発煙のおそれがあります。
電源プラグは、定格電圧100Vのコンセントに単独で差し込んでください。また、 たこ足配線、テーブルタップやコンピュータなどの裏側にある補助電源への接続は しないでください。 発熱による火災や感電のおそれがあります(本機の定格電流は100V/10Aです)。
電源プラグやコンセントに付着したホコリは、必ず取り除いてください。 そのまま使用していると、湿気などにより表面に微小電流が流れ、発熱や火災の原 因となることがあります。
電源プラグは絶対に濡れた手で触らないでください。 感電のおそれがあります。
 アースを接続しない状態で使用しないでください。 感電・火災の原因となります。 接地(アース)付きプラグを接続できない場合は、プラグ変換アダプタのアースを 必ず次のいずれかに取り付けてください。 電源コンセントのアース端子 銅片などを650mm以上地中に埋めた物 接地工事(第3種)を行っている接地端子 感電防止のためプラグアダプタを使用する場合は、コンセントに接続していない状態で作業してください。 ご使用になる電源コンセントのアースを確認してください。アースが取れない場合 やアースが施されていない場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。
 次のような場所には、絶対にアース線を接続しないでください。 ガス管(引火や爆発の危険があります) 電話線用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる可能性がある ため危険です) 水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合は、アースの役 目は果たしません)
⚠注意

本機の電源を入れたままでコンセントから電源プラグを抜き差ししないでください。 電源プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。 電源コードを引っ張ると、コードが傷付いて、火災や感電の原因となることがあり ます。

インターフェイスケーブルやオプション製品を接続するときや消耗品を交換すると きは、必ず本機の電源スイッチをオフにしてください。 感電の原因となることがあります。



電源の接続

—— MEMO —— ____

<u>CS-6500Sの設置</u>

ここでは、CS-6500Sの設置とスキャナおよびプリンタとの接続について説明しています。

専用スキャナスタンドへの取り付け P.44 専用スキャナスタンドを使用しない場合 P.47 スキャナと操作パネルの接続 P.48

専用スキャナスタンドへの取り付け

オプションの専用スキャナスタンド(型番: CSCBN7A)を使用する場合、次の手順で CS-6500S の操作パネルを取り付けます。

- 操作パネルの専用スキャナスタンドへの取り付けは、本製品に同梱の操作パネル取 付板とネジ(5本)、および専用スキャナスタンドに同梱のネジ(4本)が必要です。
- 操作パネルと操作パネル取付板は、操作パネルに操作パネル用ケーブルを接続した後に取り付けてください。
 操作パネルを操作パネル取付板に取り付けた後で、操作パネル用ケーブルを接続することはできません。

専用スキャナスタンドの組み立て方は、専用スキャナスタンドに同梱の取扱説 明書を参照してください。

また、専用スキャナスタンドは、組み立て時に、高さを調整できます。プリン タにオプションの増設カセットユニットなどを装着している場合、プリンタが 専用スキャナスタンドの中に入るよう、専用スキャナスタンドの高さを調整し てください。

操作パネルのコネクタに、操作パネル用ケーブルを接続します。

ケーブルのどちら側を接続しても、かまいません。



操作パネル右側の裏面

操作パネル用ケーブル

2



操作パネルと、操作パネル取付板を、ネジ(5本)で固定します。

このとき、次の点に注意してください。

- 操作パネルと操作パネル取付板をネジで固定する際、次の点に注意してください。 • 操作パネルと取付板をささえる人と、ネジで固定する人の、2人以上で行ってく ださい。
- 操作パネル取付板を取り付けるために操作パネルを裏返すときは、左側のカバー を押さえながら裏返してください。カバーを押さえずに裏返すと、カバーが開 き、中のトレイなどが落ちる可能性があります。
- 操作パネルを裏返してネジで固定する場合、操作パネルが傷付いたり破損することを防ぐために、平らな台の上で、柔らかい布などの上に置いてください。
- 操作パネルの破損を防ぐため、ネジをきつく締めすぎないでください。



- 操作パネルと操作パネル取付板の固定に使用するネジ(5本)は、本製品に同梱 されています。
- ここでは座金の付いていない、ネジ溝の間隔が広いネジ(5本)を使用してくだ さい。
- 操作パネルに接続している操作パネル用ケーブルのコア(円筒形の部品)が、操作パネル取付板の内側に入るようにして取り付けてください。



3

操作パネルとスタンド取付板を、図のように専用スキャナスタンド正 面にまっすぐ差し込みます。

専用スキャナスタンド前面にカバーが装着されている場合、ネジ(2本)を外して、カバーを取り外してから差し込んでください。



専用スキャナスタンドに同梱のネジ(4本)で、底面と背面を固定します。



専用スキャナスタンドへの取り付け



専用スキャナスタンドを使用しない場合、本製品に同梱のゴム脚を、操作パネルの底面に貼り付けて使用してください。 ゴム脚(大:2個)は、操作パネルの背面側に、ゴム脚(小:2個)は、正面

側に貼り付けます。



• •

スキャナと操作パネルの接続

CS-6500Sの操作パネルとスキャナを、プリンタに装着した I/F カードのコ ネクタに接続します。

接続の概要は、下図のようになります。



同梱のケーブルには、次の2種類があります。接続の際は、コネクタの大きさ と向きを確認して、接続するケーブルを間違えないようにしてください。

操作パネル用ケーブル:コネクタの小さいケーブルです。操作パネルとプリンタ用I/Fカードの接続に使用します。



 スキャナ用ケーブル : コネクタの大きいケーブルです。スキャナ用 I/F カードとプリンタ用I/Fカードの接続に使用します。



スキャナの接続

スキャナに装着したI/Fカードと、プリンタに装着したI/Fカードのコネクタ (大きい方)を、スキャナ用ケーブルで接続します。 専用スキャナスタンド/プリンタ台を使用している場合、スキャナやプリンタ を、それらに載せてから接続してください。

12

スキャナとプリンタの電源をオフにします。

スキャナとプリンタを接続します。

スキャナ用ケーブル(両端のコネクタが大きいケーブル)を、スキャナに装着したI/Fカード背面のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードの大きい方のコネクタに差し込みます。

カチッという音がして、確実に差し込まれたことを確認してください。





スキャナ用ケーブルは、「ECIF」という刻印があるコネクタに接続してください。

操作パネルの接続

CS-6500Sの操作パネル右側のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードのコ ネクタ(小さい方)を、操作パネル用ケーブルで接続します。 専用プリンタ台を使用している場合、プリンタを専用プリンタ台に載せてから 接続してください。

プリンタの電源をオフにします。

操作パネルとプリンタを接続します。

操作パネル用ケーブル(両端のコネクタが小さいケーブル)を、操作パネル右 側のコネクタと、プリンタに装着したI/Fカードの小さい方のコネクタに差し込 みます。

カチッという音がして、確実に差し込まれたことを確認してください。



に、操作パネル用ケーブルを接続してください。





- 専用スキャナスタンドを使用する場合、操作パネルを専用スキャナスタンドに取り付ける前に、操作パネル右側のコネクタに操作パネル用ケーブルを接続する必要があります。
 以下のページを参照して、取り付けを行った後、プリンタに装着した1/Fカード
- △③本書「専用スキャナスタンドへの取り付け」P.44
 操作パネル用ケーブルは、「PANEL」という刻印があるコネクタに接続してください。

ケーブル固定について(操作パネル)

専用スキャナスタンド(CSCBN7A)を使用する場合、専用スキャナスタンドに 同梱のクランプ(止め具)を下図の位置に取り付けてください。 スキャナを載せる台の裏側のクランプ(2個)に操作パネル用ケーブルを通し、

スタンド背面のクランプ(2個)に、操作パネル用ケーブルとスキャナ用ケーブ ルを束ねて通してください。



クランプを取り付ける穴は、直径5mm前後です。上図では、実際より大きく描いています。

— MEMO — ____

ネットワークスキャニングボックスをお使いの場合

CS-6500S と接続したスキャナで、スキャナ用オプションの ネットワークスキャニングボックス(型番:ESNSB1)をお使 いの場合、ネットワークスキャニングボックスをCS-6500Sの 操作パネルに取り付けることができます。ここでは、ネット ワークスキャニングボックスの取り付け方を説明しています。 ネットワークスキャニングボックスをお使いの場合のみ、お 読みください。

ネットワークスキャニングボックスの取り付け.... P.54

ネットワークスキャニングボックスの取り付け

ネットワークスキャニングボックス(型番:ESNSB1)は、エプソン製ESシ リーズスキャナ用のオプションです。

本製品に接続したスキャナと一緒にネットワークスキャニングボックスを使 用している場合など、ネットワークスキャニングボックスを操作パネルに取 り付けて、スペースを効率良く使用することができます。

ネットワークスキャニングボックスとスキャナの接続については、ネット ワークスキャニングボックスに同梱の取扱説明書を参照してください。 ここでは、CS-6500Sの操作パネルにネットワークスキャニングボックスを 取り付ける手順について説明します。



3

ネットワークスキャニングボックスのケーブルを、操作パネル左側 から図のように通して、ネットワークスキャニングボックスに接続 します。

- ケーブルのコネクタの向きを間違えないよう、下図を参照して確認してください。
- コネクタを接続する際は、左右のバネ部を押さえて差し込み、確実に固定されていることを確認してください。



ケーブルに設けられているコア(円筒形の部品)は、 操作パネルの内側には入りません



ネットワーク I/F のケーブルを、ネットワークスキャニングボックスに 接続します。

ネットワークスキャニングボックスのケーブルの上に、ネットワークI/Fケーブルが重なるようにして接続してください。

ネットワーク I/F ケーブルを、 上にしてください

ネットワークスキャニングボックスの AC アダプタのケーブルを、 ネットワークスキャニングボックスに接続します。

AC アダプタのケーブルは、他のケーブルより下になるようにしてください。



ネットワークスキャニングボックスの左側を、図のように操作パネル

左側のくぼみに差し込みます。

ケーブルが外れないように、ゆっくりと差し込んでください。



各ケーブルが外れていないか、ケーブルに無理な力がかかっていないかを 確認してください。

ネットワークスキャニングボックスの左側を操作パネルに差し込んだ ら、右側をゆっくり下げて、完全に操作パネルの中に入れてください。 操作パネルの裏から、ネジ(2本)で固定します。 ネジは、本製品に同梱されています。座金の付いているネジを使用してください。 操作パネル左側のカバーを、元通りに取り付けます。 操作パネルを専用スキャナスタンドに取り付けていない場合、ケーブル類に無 理な力がかからないよう、左側のカバーを必要に応じて外すことができます。 また、操作パネル底面に、同梱のゴム脚を貼り付けてください。 ポイント 操作パネル左側のカバーを閉じます。

> ネットワークスキャニングボックスのスイッチを誤って操作することのないよ う、操作する必要のないときは、カバーを閉じておいてください。

57

ケーブル固定(ネットワークスキャニングボックス)

専用スキャナスタンド(CSCBN7A)に装着した操作パネルにネットワークス キャニングボックスを取り付けている場合、専用スキャナスタンドに同梱のク ランプ(止め具)を下図の位置に取り付け、ネットワークスキャニングボック スに接続しているケーブルを束ね、クランプに通して固定してください。 また、ネットワークスキャニングボックスのACアダプタ本体は、ネットワーク スキャニングボックスに同梱のマジックテープを使って、専用スキャナスタン ド下図の面に貼り付けてください。



クランプを取り付ける穴は、直径5mm前後です。上図では、実際より大きく描いています。

— MEMO — ____ _ ____ _____ _ ____ _

ご注意 -

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については,将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については,万全を期して作成いたしましたが,万一ご不審な点や誤り,記載 もれなど,お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- (4) 運用した結果の影響については,(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承くだ さい。
- (5)本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、 またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に 起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品および,エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し,それが原因でトラブルが発生した場合には,保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合,修理等は有償で行います。

©セイコーエプソン株式会社 2000